

京都外国語短期大学 入学式 学長式辞（邦文）
平成24年4月1日 中ホール（R741）

新入生ならびに保護者の皆さま、森田嘉一理事長・総長、ご来賓の各位、そしてこのよき日にお集まりくださいました皆さま方！本日はご入学おめでとうございます。京都外国語短期大学の教職員を代表いたしまして、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

本日、ここに新入生諸君を京都外国語短期大学にお迎えいたしますことは、本学にとりまして大変うれしく、また名誉なことであり、心より歓迎申し上げます。そして、数ある大学の中から京都外国語短期大学を選んでくださいましたことに対しても、深く感謝申し上げます。

本学が京都外国語学校として創立されましたのは、第二次世界大戦後間もない1947年5月であります。本学の創立者は、「本学は単に外国語を教えるだけでなく、世界の人々の精神や価値観に至るまでを教えられる大学をめざしたい」と熱を込めて語られました。

京都外国語短期大学は、「Pax Mundi Per Linguas（言語を通して世界の平和を）」を建学の精神として掲げ、創立以来、高度な外国語運用力を身につけ、平和と人類愛を尊ぶ真の国際人の育成に尽力してきました。

加えて、本学は、「不撓不屈」を教育・研究の基本精神としていますが、それは、外国語を専攻する者にとって不断の努力が何よりも重要であると考えているからであります。新入生諸君がこの京都外国語短期大学に入学されるということは、諸君が私たちとともに真理を探究し、「言語を通して世界の平和」をめざすという創立者の偉大な事業に加わることを意味するということ、常に心のすみに留めておいていただきたいと思います。と思っております。

京都外国語短期大学は、「日本にいながら世界の言語と文化を学び、日常のキャンパス生活を通して外国が経験できる」大学づくりをめざしている、わが国でもユニークな短期大学であります。学生諸君は、本学において高度な外国語運用力と幅広い教養を身につけられ、自らが希望する仕事に就かれるとともに、国際社会において積極的に貢献しうる人材に成長されることが期待されております。

このことを念頭に、今、私たちはキャンパスの環境改善プロジェクトを推進しております。学生諸君が世界を身近に感じ、学習している外国語が自然に口に出るように、海外に行かずとも、外国の雰囲気が体験できる大学づくりをめざしております。具体的には、学生諸君が教室での授業だけでなく、日常のキャンパス生活を通して身につけた高度な語学運用力を実践できる環境を作りたいと思っております。

このようなキャンパス生活を通して、本学の学生諸君が強い学習意欲をもって勉学に励み、外国とその文化をより深く理解することができると思っております。

今日、私たちは深刻な世界的危機に直面しております。それは、環境破壊と地球温暖化の問題であります。これまで私たちは、生産性を高め、能率を上げることが私たちの人生に限りない幸せをもたらしてくれるものと考えてきました。私たちを含め、多くの人たちはその仮定に何ら疑いを抱くことなくこれら二つの目標に向かってひたすら走り続けてきました。そしてそれが人類社会の未来に取り返しのつかない悪影響を及ぼすなどとは考えもしませんでした。私たち人間がもたらしたこれらの悪影響の一つに温室効果ガスの大量排出があります。今、温室効果による地球の温暖化は、人類の生存そのものを脅かしております。

私は、学生諸君が外国語とその国の国民性について学ぶだけでなく、世界中の人々と言葉の垣根を越えて議論し、理解を深め共に行動すること、またこの世界を安全でかつ住みやすい場所にするために、世界の人々と手をつなぎ行動することも、極めて重要であると考えております。

私たちが生きているこのグローバル化の時代は、異なる言語を話す他の地域の人々と共に働くことがますます必要になってきております。学生諸君もご存知の通り、私たち日本国民の生活は、外国の人たちとのコミュニケーションの如何にかかっております。グローバル化の世界で生き抜くには、穏やかな心で周囲の人々と協調すること、自分の考えを正しく論理的に外国語で伝えることが必要不可欠であります。本学の学生諸君はこのような人間力を身につけることをめざしていただきたいと思っております。と申しますのは、そうすることが本学の建学の精神を実践することになると信じておりますし、またひいてはそれが世界の平和と国際安全保障のシステムの強化にもつながると信じているからであります。

新入生の諸君、この2年間の学生生活を通してしっかりと勉学に励んでください。そして、あらゆる学習の原点は好奇心にあることをどうか忘れないでください。その好奇心が一つのテーマに絞られてゆき、さらにはそのテーマについてもっと深く知りたいと努力していく過程で、私たちの心はしだいに豊かになっていきます。このようにして、私たちの人生はより意味のあるものになっていきます。

京都外国語短期大学の教職員は、一丸となって諸君をお手伝いできますことをうれしく思いますとともに、そう強く願っております。学長としましても、学生諸君に、「京都外国語短期大学に入学してよかった」「京都外国語短期大学の学生であることを誇りに思う」と言ってもらえますよう、また本学が学生諸君にとって魅力的で、かつ人生の最も大切な時期を過ごすに値する大学にするために、最大限の努力をさせていただくことをここにお約束いたします。

卒業後、世界各地で羽ばたいていただきたいとの願いを込めまして、本日は、この大学を引っ張ってまいります一人として、英語でのスピーチとさせていただきます。学生諸君のこれから的人生のご幸運をお祈りいたします。

ご静聴ありがとうございました。

学長 松田 武